



感染症週報



小笠原での流行状況

第17週（4月20日から4月26日まで）

父島 感染性胃腸炎、不明発しん症の報告がありました。

母島 特別な感染症の報告はありませんでした。

※次回の感染症週報の発行は5月11日とさせていただきます。 ※ 5例以上発生時に実数報告としていきます

東京都全体での流行状況

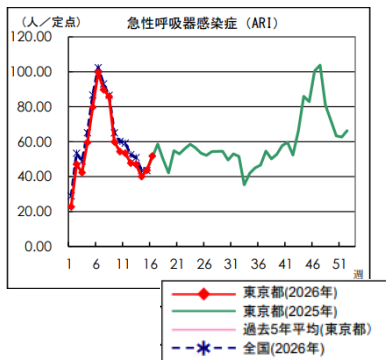
第16週（4月13日～4月19日）

【警報・注意報】

なし

【ピックアップ】

急性呼吸器感染症（ARI）の定点当たり報告数が、前週より増加しています。



★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection：ARI)とは、急性の上気道炎（鼻炎、副鼻腔炎、咽頭炎、喉頭炎）又は下気道炎（気管支炎、細気管支炎、肺炎）を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

麻しん(はしか)が世界・国内で増加しています。

流行中

はしかは麻しんウイルスによる急性ウイルス感染症です。感染力はインフルエンザの約10倍で密接な環境で免疫のない人が感染者のそばにいた場合、約90%の人が感染し、感染したら100%発症すると報告されています。また、空気感染するため、患者がいなくなった後も室内でウイルスが漂い、感染する可能性があります。

ワクチンのない時代、世界では毎年約260万人が麻しんで死亡していました。小児はもちろん、成人でも重症化しやすく、妊婦が感染すると流産・早産のリスクが上昇します。

＜＜症状＞＞

第1～4病日 38～39℃の発熱、鼻水、咳、結膜炎、口の中の白い斑点（コプリック斑）

第4～5病日 高熱(40℃前後)と全身への発しん拡大

第5～10病日 発しんの消退と解熱



発熱と発しん等疑わしい場合は…

診療所受診前に必ず電話を

感染症メモ

はしかのワクチンについて

MRワクチン（麻しん・風しん混合）の2回接種で、ほぼ確実に予防できます。流行を防ぐには集団全体のワクチン接種率を95%以上に維持することが必要です。

1歳と就学前1年間の2回が定期接種の時期で、受け損ねた方も任意接種（自費）になりますが、接種は可能です。気づいた時点でかかりつけ医に相談しましょう。



習慣にしよう!

感染予防の基本は手洗い



東京都島しょ保健所小笠原出張所